

報道各位

《取材のお願い》 小梅・古城に続いて本格シーズン 三重南紀産最高級梅「南高」出荷始まる

御浜町にあるJA伊勢三重南紀統一選果場で5月中旬から梅の出荷が始まりました。

JA伊勢の三重南紀地区管内では、ミカンに次ぐ第二の果樹として紀宝町、御浜町を中心に栽培されています。統一選果場では「小梅」「古城（ごじろ）」などに続き、最も栽培が盛んな「南高」の出荷へと続きました。しばらく青梅の出荷が続き、その後は主に梅干しに加工される熟した梅へ移り、6月下旬頃までに契約販売業者や県内や愛知県の市場へ約50トンを出荷する見込みです。

「南高」は梅のトップブランドとして知られ、果実は非常に大きく、種は果実のわりに小さめで、果肉が厚くて柔らかいのが特長です。お忙しいとは思いますが、ぜひ取材お願いいたします。



【南高選果の様子】

「南高」選果・出荷作業

日 時：6月3日（火）午前9時～

場 所：JA伊勢三重南紀 第3集荷場
※統一選果場の隣の集荷場内です。
(御浜町下市木 2133)

※集荷の都合などで変更になる場合、
前日までにご連絡申し上げます。

※ 写真の提供も可能です。

【お問合せ先】

伊勢農業協同組合 三重南紀経済センター 広報担当：宇城 真由美

電話：05979-2-1388 携帯：080-3911-3076 Email: m-ushiro@ise.jamie.or.jp